

主直日誌

10月 4日 (水) 天候 C

主直氏名

【実習・課業の内容】

漁場調査準備、釣り台への出方、STCW条約、活餌管理

一日の感想

鹿児島港を出港して2日目、漁場調査に向けて調査準備を行った。操業で使用する竿を出し、擬餌鉤をつける作業を行った。また、実際の操業を想定して釣り台に入る動きを確認したり、竿の出し方、片付け方を教わった。

課業では、STCW条約 (International Convention on Standards of Training Certification and Watch keeping for Sea fares・船員の訓練及び資格証明ならびに当直の基準に関する国際条約) について学習した。航海士及び機関士になるために国際的な条約によって実施する訓練内容が定められており、「訓練記録簿」を実務的な指針として様々な知識、経験、技術及び能力を身に付けなければならないと感じた。

活餌管理では、自分は主直だったので棒秤で死んでしまった餌 (カタクチイワシ) の重さを量り、甲板長に伝える役割を行った。素早く正確に重さを量らなければならないことがとても大変だった。最初は素早く量れなかったが、回数を重ねていくごとにうまく量れるようになった。

明日から当直見張りが開始される。気を引き締めて頑張っていきたい。



1本釣りの安全指導を受けました。